

平成22年度 一般会計当初予算説明資料

3 款 民生費

2 項 児童福祉費 子育て支援総室（内線：7893）→事業実施：子育て支援総室 [家庭福祉室]

1 目 児童福祉総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考							
				国庫支出金	起債	その他	一般財源								
(新) 児童相談所のあり方検討 事業	(3,661) 1,736	(0) 0	(3,661) 1,736				(3,661) 1,736								
トータルコスト	8,190千円（前年度0千円） [正職員：0.8人]														
主な業務内容	会議の開催														
工程表の政策目標(指標)	児童虐待の未然防止と被虐待児の支援の充実														
事業内容の説明 <p style="text-align: right;">※上段（ ）内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額</p>															
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>倉吉・米子児童相談所は建設後40年以上経過し、老朽化・狭小化が著しい。改築を視野に入れ、求められる機能や環境整備について検討する。</p>															
<p>2 主な事業内容</p> <p>平成21年度に行った児童相談所実務者による検討を踏まえ、より専門的な意見を取り入れるため有識者を含めた検討会を開催する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検討会の名称</td> <td>児童相談所のあり方検討会</td> </tr> <tr> <td>構成委員</td> <td>専門家(大学教授等)2名、児童養護施設関係者1名、児童相談所長3名等</td> </tr> <tr> <td>主な検討項目</td> <td>相談・判定指導・一時保護機能の充実、ハード面改良</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	内 容	検討会の名称	児童相談所のあり方検討会	構成委員	専門家(大学教授等)2名、児童養護施設関係者1名、児童相談所長3名等	主な検討項目	相談・判定指導・一時保護機能の充実、ハード面改良
区 分	内 容														
検討会の名称	児童相談所のあり方検討会														
構成委員	専門家(大学教授等)2名、児童養護施設関係者1名、児童相談所長3名等														
主な検討項目	相談・判定指導・一時保護機能の充実、ハード面改良														
<p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年12月、決算審査特別委員会で「倉吉・米子児童相談所一時保護所の老朽化・狭小化を踏まえ、相談体制及び受入体制のあり方について検証の上、早急に必要対策を講じるべき」との文書指摘。 ・平成21年度、児童相談所職員による児童相談所のあり方検討会を設置し、相談・判定・一時保護の各部門における現状課題抽出と今後のあり方について検討。 <p>○検討した主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 相談業務 <受付処理体制の整備>相談初期振り分け担当者の設置、施設整備 2 判定指導業務<心理診断・心理療法の体制整備>虐待初期対応時からの児童心理司の関与、施設整備 3 一時保護業務<保護中児童の支援>学習支援の充実、援助指針の作成、施設整備 4 関係機関連携 <連携強化>連絡会・ケース検討会・実務者会議の開催 5 専門性確保 <人材育成と研修強化>スーパーバイズ体制の確立と研修の体系化 6 組織整備 <組織定数>業務整理、職種・定数の整理 															